

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

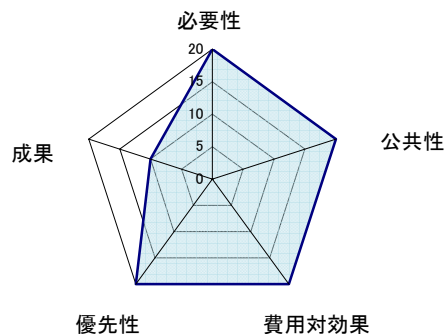
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	市民が必要性を認めながらも、経済的理由などであきらめている場合なども見受けられるが、できることなら耐震改修を実施したいという市民ニーズは確かにはずである。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	耐震性の弱い住宅に対し、市が率先して耐震改修の必要性を啓発するとともに、具体的な支援をすすめることが地震に強い街づくりの実現となる。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 20	震災から街をまもるうえからも耐震改修はきわめて効果的である。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 20	1981年5月31日以前に建設された木造住宅が耐震性に乏しいことが阪神・淡路大震災でも明らかになったことから、優先性が高い。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	対象の多さに比べると達成状況が少なすぎる。

## 2 全体評価（事前評価）

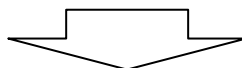
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
地震に強い街づくりとともに、地域経済の活性化のためにも、本事業の果たす役割は大きい。



第1次評価レーダーチャート

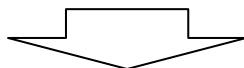
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
5	5 きわめて良好である 80点以上	90	地震に強い街づくりとともに、地域経済の活性化のためにも、本事業の果たす役割は大きい。しかし、目標が少ないうえに事業推進のための補助が少ないために成果が上がっていない。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

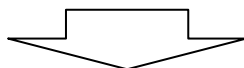
現耐震基準ができる(1981年5月3日)以前にできた住宅に対する耐震診断とともに耐震改修をすすめる。3年間の事業成果を検証し見直す。4000戸の対象住宅に対し、診断だけでも約200戸という少ない状況を引き上げる必要がある。



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

「耐震化にともなう普及啓発活動」をスタートさせたその年だけでとやめるべきではない。建設業者にとっても、市民の生命を守るうえでも啓発活動の積極的な推進をおこなうべきである。



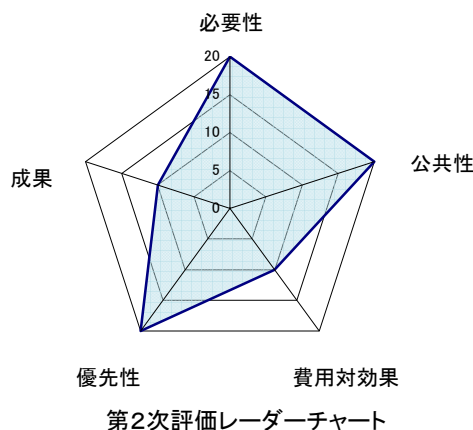
#### 6 第2次評価(修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
5	80	20	20	10	20	10	地震に強い街づくりとともに地域経済の活性化のためにも本事業の果たす役割は大きい。対象住宅の多さに比べ実施目標が少なすぎるのが問題である。

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
対象住宅4000戸にふさわしい取り組みとするための創意工夫が求められる。3年間の事業成果の検討、見直しに当たっては、国の補助がなくなっても国への働きかけとともに市独自でも事業をすすめる必要あり。



#### (3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	対象住宅4000戸にふさわしい取り組みとするための創意工夫が求められる。3年間の事業成果の検討、見直しに当たっては、国の補助がなくなっても国への働きかけとともに市独自でも事業をすすめる必要あり。

#### ※特記事項(200字以内)

なし。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

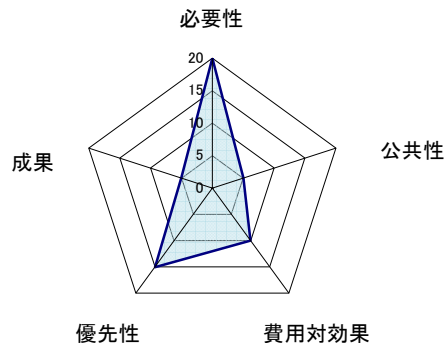
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○     20	地震が起こりやすい時期であり、人命尊重の上からも必要性が高い。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	    ○ 5	委託により普及啓発活動は理解する。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	   ○  10	耐震診断の実施件数は少ない。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	    ○ 15	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	    ○ 5	委託により普及啓発活動は理解するが、個人所有住宅の耐震化率は上がっていない。

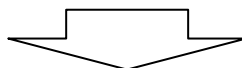
## 2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
地道な訪問で耐震診断から耐震改修へ今後も継続すべき。



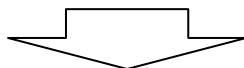
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	戸別訪問件数が少ないことが課題である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



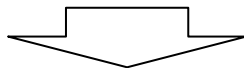
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Yellow box for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)  
[Yellow box for social situation]



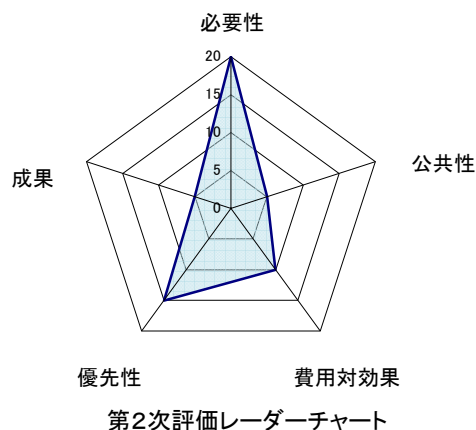
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	55	20	5	10	15	5	[Yellow box for overall evaluation]

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
[Yellow box for evaluation comments]



#### (3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	地道な訪問により、住宅耐震の必要性を理解してもらうように努めること。

※特記事項(200字以内)  
[Yellow box for special notes]

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

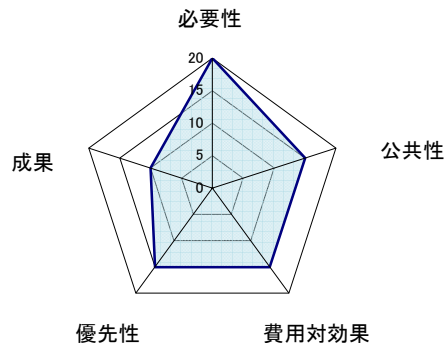
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○     20	誰が考えても重要な事業。多くの市民が求める事業であることを前提に、もっと積極的な展開を望む。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○     15	
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○     15	
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○     15	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○     10	事業達成の成果が少ないことが問題。アピールにもっともっと力を入れるべき。

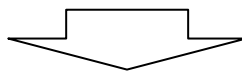
## 2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 安心安全の街づくりは掛け声だけではなく、本来このような事業が大きく展開されてこそ、その名に恥じないものになる。事業拡大には甘さが感じられる。



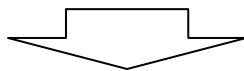
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	75	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

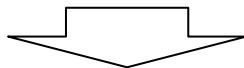
[Blank area for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

[Blank area for social situation]



#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

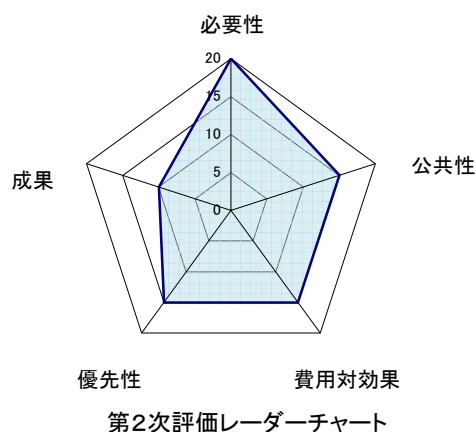
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	75	20	15	15	15	10	[Blank area for overall evaluation]

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

[Blank area for evaluation comments]



#### (3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
5	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	市民の生命財産を守るといった観点でこの事業をもっと積極的に進める必要性がある。市民の日頃からの有事に対する啓発のためにも、もっと積極的なアピールを。

※特記事項(200字以内)

[Blank area for special notes]

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

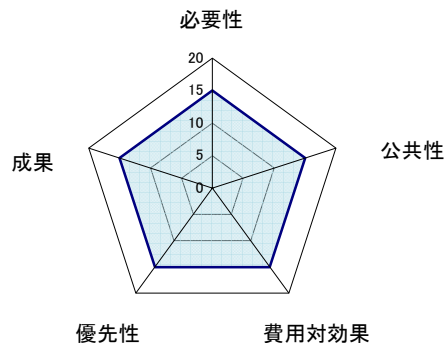
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	防災対策上、有効な手段となる。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	行政からの働きかけが促進に繋がる。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 15	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	被害を最小限に留めるにも有効な事業。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	

## 2 全体評価（事前評価）

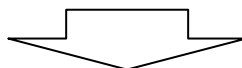
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



第1次評価レーダーチャート

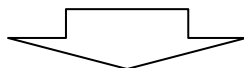
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である	80点以上	総合的に判断した。
	4 適正である	60～79点	
	3 おおむね適正である	40～59点	
	2 問題がある	20～39点	
	1 不適正である	19点以下	
		75	



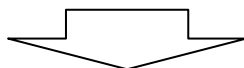
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

目標が低いのではないか。今後、市民への積極的な啓発活動も必要である。



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



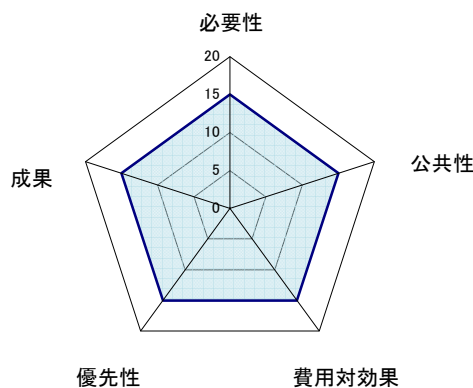
#### 6 第2次評価(修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	75	15	15	15	15	15	再度、総合的に判断した。

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
計画的な事業展開をすべきである。



第2次評価レーダーチャート

#### (3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
5	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	再度、総合的に判断した。

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

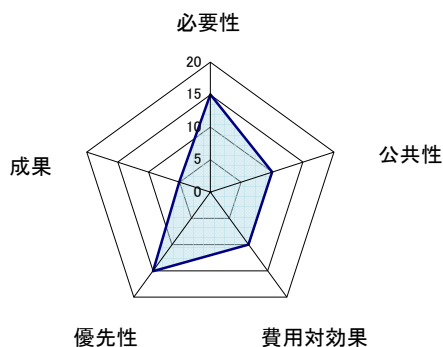
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	

## 2 全体評価（事前評価）

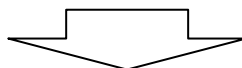
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 防災の観点から、木造住宅の倒壊や延焼を防ぐ対策は重要である。木造住宅へ耐震診断士を派遣する事業は継続して行う必要があると考える。



第1次評価レーダーチャート

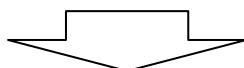
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である	80点以上	
	4 適正である	60～79点	
	3 おおむね適正である	40～59点	
	2 問題がある	20～39点	
	1 不適正である	19点以下	
		55	



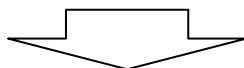
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

Blank yellow box for confirmation items.



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



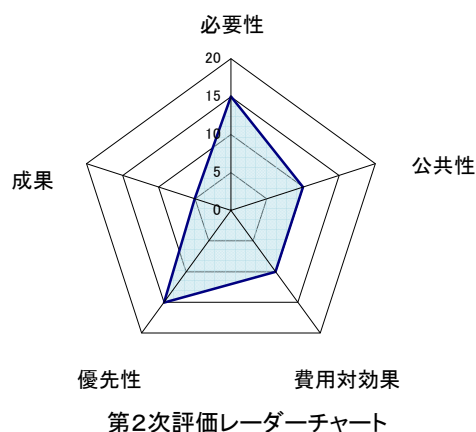
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	55	15	10	10	15	5	災害に強いまちづくりの観点から必要な事業である。市民への安全に対する意識啓発という意味ではさらなる啓発の努力を。

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



#### (3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	防災の観点から木造住宅の倒壊や延焼を防ぐ対策は重要である。木造住宅への耐震診断士を派遣する事業は継続して行う必要があると考える。事業達成の数字があがってないことからみて今後はもっとPRIにつとめるべきである。

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

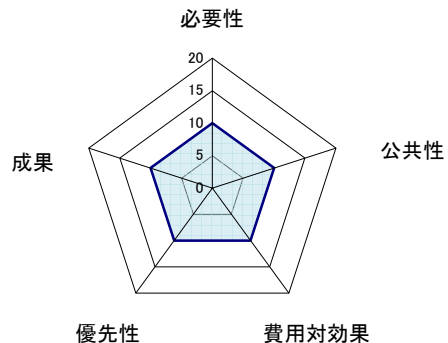
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	住宅の老朽化が進んでいる中、行政が率先して本事業に取り組むことは必要である。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	必ずしも行政が実施すべきであるとも言い難く、物件所有者の責任に委ねることも可能であるが、現況、あまり進んでいない状況では旗振り役をする意味はある。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	診断結果により住宅の改修が進んでおり、一定程度は効果は認められる。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	市民の防災力を高めるという観点からは優先して取り組む必要はある。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	市民からは好評をえている事業であり、成果はまずまず上がっていると言える。

## 2 全体評価（事前評価）

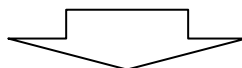
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
住宅の耐震改修を進めていくことは必要であるが、本来は物件所有者の責任として行われることが望ましい。しかし、状況を勘案するならば、行政が旗振り役を担い、地域と市民の防災力向上を目指し、積極的に関わっていくことをあながち否定すべきものでもない。しかし、受益者負担の考え方に照らし合わせて、今後も継続していくのかどうかは議論しなければならない。



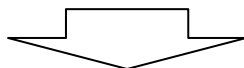
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	50	耐震診断、改修工事がなかなか進んでいかない状況で、行政が補助により誘導していくことは一定程度必要である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

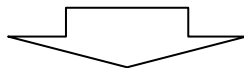


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



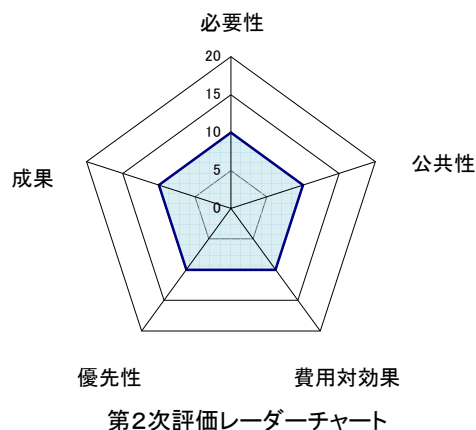
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	事前評価どおり。

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

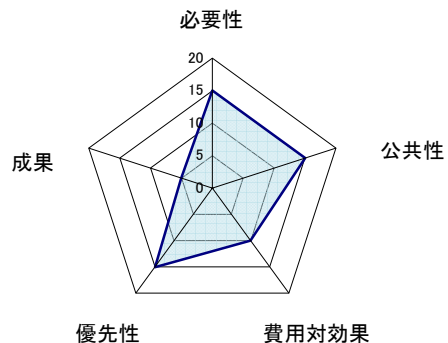
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	災害に強い住宅の安全性の確保は、必要である。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	災害に強い住宅の安全性を確保することは、市が行う必要がある。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	戸別訪問の目標に対して、結果が少なく効果については、課題がある。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	災害に強い住宅を確保することは必要であり、優先性は高い。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	改修は、17件であるが、充分成果が上がっているとはいえない。

## 2 全体評価（事前評価）

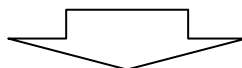
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
必要性、公共性、優先性は高いが、その成果については、まだ不十分である。



第1次評価レーダーチャート

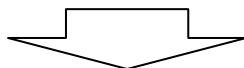
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	60	災害に強い街づくりという点では、適正である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



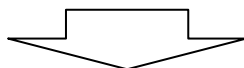
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

Blank yellow box for confirmation items.



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性 (200字以内)



#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

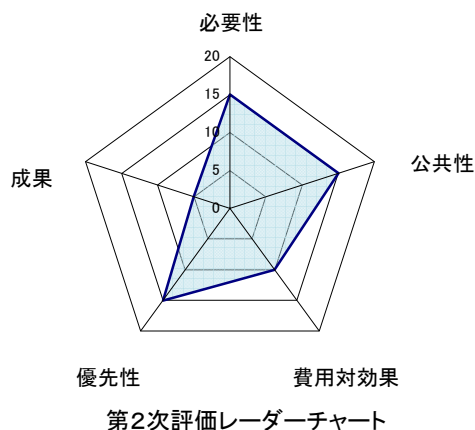
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価 (100字以内)
4	60	15	15	10	15	5	

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など (300字以内)

耐震診断を早急に行うことが、最優先されることだと思っております。



#### (3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由 (200字以内)
3	5 拡充する	
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項 (200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

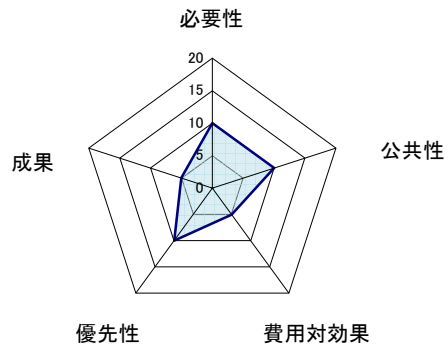
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
13	土木費	住宅耐震改修等促進事業	979

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ○ ⑤非効果的である(0点)	5	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ○ ⑤成果はあがっていない(0点)	5	

## 2 全体評価（事前評価）

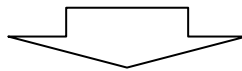
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



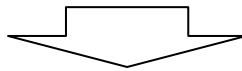
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	40	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

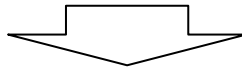


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



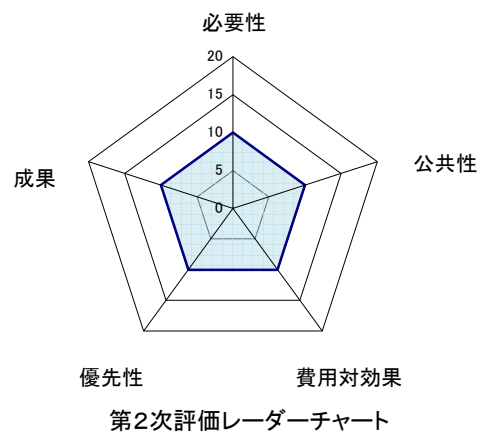
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	啓発目標と達成度の差が大きい。

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



#### (3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	昭和56年以前の耐震化の充実と住宅の安全の確保を早急に進めていくべきである。

※特記事項(200字以内)